

2013 年度 心コミ大賞 映像作品部門 審査結果並びに講評

<審査員> 阪井、後藤、小幡

【映像作品部門】

心コミ大賞:菊地杯 該当無し

奨励賞 「奇術と笑顔」 若松眞之介

講評:

本年度は3作品が寄せられました。心コミ学科1年生の若松君の作品、そして札幌市立札幌大通高校メディア局の2作品です。奇術を見物する仲間たちの笑顔や、学校のマスコットキャラクターのほほ笑ましいしぐさなど、いずれも身近な題材をたくみに切り取り、作品に仕上げています。

映像の魅力をたっぷりと感じ取ったところで、次はぜひ、外界の現実に入り込むようなドキュメンタリー作品にチャレンジしてみてください。一生懸命にアルバイトに汗を流す若者、夢を追いかける仲間、戦時中に大変な経験をされたお年寄り…。テーマは身近なところにたくさん転がっています。

どこに焦点を当て、問題点を拾い上げ、まとめるかが勝負どころです。皆さんのがんばりに期待しています。

以下、各作品についての講評です。

心コミ大賞:菊地杯 該当無し

奨励賞 「奇術と笑顔」 若松眞之介

カードで手品をする若松君の手さばきが実に見事。それを見物する学生仲間の驚き、笑顔が生き生きと映し出されていて、好感を持ちました。ただ、このカードマジックの中身がどれだけすごいのか、映像からはちょっと伝わってこないのが残念です。どこで消えたカードが、どこに現れてびっくり仰天なのか、わかりやすく見せてくれれば、さらに高い評価になっていたでしょう。

もう1つ。ただ単にこの手品を仲間内の学生に見せるのではなく、これを介護施設のお年寄りの前で披露させてもらったらどうでしょう。普段は笑顔の少ないお年寄りたちが驚き、笑顔になったら、それこそ極上のドキュメンタリーです。コンセプトは「マジックは人を幸せにする」です。手品を見せた後で、何人かの入所者にインタビューし、それも含めて映像に撮れば、もう立派なドキュメンタリーです。一步社会へ出て行く勇気を持つことで、作品の価値は予想外に高まるものです。

賞から漏れた2作品もまた力作でした。

「大通高校 ～とまびん、にしの整体院～」 大通高校メディア局

大通高校のマスコットキャラクター・とまびんが整体院へ行き、疲れをとってリフレッシュします。

「大通高校 ～新入生歓迎会 PV」 大通高校メディア局

学校行事の様子などをテンポよく紹介しています。新入生へのインパクトは十分でしょう。